

## 1. 演習概要

### (1) 演習名

「平成 26 年度 野洲川総合水防演習」

### (2) 演習の目的

水防は、水害から住民の生命、財産を守るため重要である。

水防演習は、災害時における水防活動の実効を期し、水防思想の普及・徹底を図り、水防に対する住民の理解と協力を深め、水害の未然防止・軽減に資する事を目的として実施する。

### (3) 演習のテーマ

**地域力の結集で水防力UP！**

～水防技術継承と的確な避難行動～

### (4) 演習の日時及び場所

日 時 平成 26 年 5 月 11 日(日) 9:00～12:00

(展示・体験コーナーは、13:00 まで)

雨天決行

※ただし、災害の発生が予想され場合、河川敷が使用できない場合は中止

場 所 滋賀県野洲市市三宅地先 野洲川右岸河川敷 (川田大橋上流)

### (5) 主 催

平成 26 年度 野洲川総合水防演習実行委員会

国土交通省近畿地方整備局

滋賀県

大津市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市

### (6) 参加機関

国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、大津市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、彦根地方气象台、陸上自衛隊第 3 戦車大隊、国土地理院近畿地方測量部、独立行政法人水資源機構関西支社、滋賀県警察本部、守山警察署、大津市消防局、湖南広域消防局、甲賀広域行政組合消防本部、日本赤十字社滋賀県支部、大津赤十字病院、守山市地区赤十字奉仕団、野洲市野洲赤十字奉仕団、野洲市中主赤十字奉仕団、一般社団法人滋賀県建設業協会、滋賀県生活協同組合連合会、関西電力株式会社滋賀支店、西日本電信電話株式会社滋賀支店、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西支社滋賀支店、びわ湖放送株式会社、学校法人立命館 立命館守山中学校・高等学校、滋賀県立総合保健専門学校、パナ

ソニック株式会社エコソリューションズ社栗東工場、旭化成イーマテリアルズ株式会社、レンゴー株式会社滋賀工場、JNC ファイバーズ株式会社守山工場、守山市川田自治会、守山市喜多自治会、守山市田中自治会、野洲市市三宅自主防災会、野洲市竹生自主防災会、野洲市竹ヶ丘自治会、防災エキスパート（順不同）

**（7）協 賛**

全国水防管理団体連合会、公益社団法人河川協会、一般社団法人建設広報協会、一般社団法人近畿建設協会、一般財団法人河川情報センター、公益財団法人河川財団（順不同）

**（8）協 力**

小型船舶関連事業協議会、一般社団法人全国地質調査業協会連合会関西地質調査業協会（順不同）

**（9）演習スケジュール**

8時55分	集	合	（本部テント前）
9時00分	開	会	式
9時30分	演	習	
11時50分	閉	会	式
12時00分	解	散	

（※ 展示・体験コーナーは 13時00分まで）

**2. 演習の内容**

**（1）水防訓練、避難訓練**

訓練項目	訓練内容
気象情報・洪水予報発表訓練	気象情報、洪水予報の発表 演習想定発表の後、演習開始となる気象情報、洪水予報を会場で発表する。
情報伝達訓練 （水防警報）	河川管理者から水防関係機関に、情報を伝達する訓練。 本演習では、会場において、水防警報の伝達をアナウンスにより放送する。
情報伝達訓練 （ホットライン）	はん濫注意水位を超え、避難判断水位やはん濫危険水位に達し、大規模な被害が発生する恐れがあるため、河川管理者より河川の状況、危険箇所、今後予想される状況などを沿川市長に直接伝達する。
河川巡視訓練	河川管理者及び水防管理者による出水時の河川巡視訓練。出水及び被害の状況を水防本部に連絡する。 本演習では、近畿地方整備局河川パトによる訓練を行う。

訓練項目	訓練内容
水防工法実践訓練	堤防等被害状況に応じて各種水防工法を実施する。土のう作りから水防工法の製作までを連続して行う。
[洗掘対策] シート張り工	堤防川側のり面の洗掘、または漏水による堤防決壊を防止する目的に行われる工法である。 洗掘箇所や漏水箇所を覆うように取り付けられる。
[漏水対策] 月の輪工	居住地側の堤防のり裾付近からの漏水に対処する工法。 のり裾から半月状に土のうを積み上げ、水を溜め、漏水の勢いを弱め、漏水口の拡大を防ぐ工法である。
[漏水対策] 釜段工	居住地側の堤防付近の平場などからの漏水に対処する工法。 漏水口を中心に円形状に土のうを積み上げ、その中に噴き出してくる水を貯め、漏水の勢いを水圧によって弱める工法である。
[越水対策工] 積土のう工	河川から水が溢れるのを防止する工法。 水防工法の中で最も基本となる工法で、堤防の沈下や、増水により堤防を越水する恐れのあるときなどに、堤防の上に土のうを積み上げ、越水を防止する工法である。
[越水対策工] 改良積土のう工	積土のう工と同様、河川から水が溢れるのを防止する工法。 防水性のあるシートで土のうを包み込む事で、止水効果を高めた工法である。
[越水対策工] 堰板工	積土のう工と同様、河川から水が溢れるのを防止する工法。 堤防の上に、川と平行に2列に杭を打ち込み、内側に板を取り付け柵を作る。その中に土砂または土のうを詰め込み、堤防の高さを確保する工法である。
[越水対策工] 水のう工	積土のう工と同様、河川から水が溢れるのを防止する工法。 堤防の上に専用の水マットを敷き、ポンプで水を注入して充填して水マットを膨らませることにより、堤防を一時的に高くするもので、急な川の増水に対してスピーディーな対応ができる工法である。
[応急対策工] 大型土のう工	堤防斜面が洗掘され、崩れそうな状況にある場合や崩れた場合の応急復旧に用いる工法。 大型土のうは、コンクリートの根固めブロックに代わるもので、合成繊維でできた大型土のうをクレーンで投入し崩壊した箇所を保護するものである。 本演習では、野洲川堤防の決壊に緊急対応するため、国土交通省近畿地方整備局は決壊の断面拡大を防止するため、応急対策工として、滋賀県建設業協会に要請を行い、「大型土のう工」による崩壊のり面の保護を実施する。

訓練項目	訓練内容
水防活動支援訓練 (水防活動支援)	堤防の崩壊及び越水の恐れが発生したため、滋賀県から陸上自衛隊に災害派遣を要請。 要請を受けた陸上自衛隊が水防活動支援として出動し、積土のうを実施する。
水防活動支援訓練 (水防資材供給支援)	不足する水防資材の供給・運搬支援。大量の土のうが必要となり、近畿地方整備局の土のう造成機で土のうを製作し、建設業協会により現地への運搬支援を行う。
通行止め措置・ 迂回路誘導訓練	大雨により県道にガレキが散乱し、通行障害となっているため、道路管理者と警察パトカーにより通行止め措置を行い、迂回路への誘導を行う。
道路啓開訓練	道路啓開のためガレキ等の撤去し、通行を確保する。
応急送電訓練	大雨と暴風により停電した区域が発生。高圧電力車により病院などに応急的に電力供給を行う。
介護施設避難訓練	大雨により浸水が予想されるため、野洲市より介護施設に事前避難の電話連絡を行う。 連絡を受けた介護施設職員は、居住者を上階に避難誘導する。
避難広報訓練 (広報車)	野洲水位観測所にて、はん濫避危険水位に達する見込みとの情報を受け避難勧告を発令。守山市及び野洲市は、広報車により避難所への避難を呼びかける。 その後、はん濫避危険水位を超過したことにより避難指示を発令。守山市及び野洲市は、広報車により避難を呼びかける。
避難広報訓練 (ヘリ)	河川の氾濫により大規模災害が想定されることから、ヘリコプターにより広範囲に避難を呼びかける。
避難所開設・ 受入訓練	避難所にて避難してきた住民の受入れ訓練などを行う。
避難訓練	守山市長の避難勧告発令に伴い、市広報車での避難広報を受け、沿川住民による自宅から指定避難所までの避難訓練を行う。
避難誘導	避難所周辺において避難者の安全確保及び避難所への誘導を行う。
緊急放送訓練 (避難情報等放送)	メディアによる災害情報の放送。 避難指示発令区域、浸水地区情報、今後の気象予測などの防災情報の緊急告知放送を行う。 本演習では、緊急放送の内容を事前作成したVTRを会場モニターで放映する。
避難広報訓練 (エリアメール)	大規模災害が想定され、広範囲に避難を呼びかけるため、携帯電話に災害・避難情報をエリアメールで発信する。本演習では、エリアメールのデモ映像を紹介する。

訓練項目	訓練内容
通信回線の確保訓練	可搬型ポータブル衛星通信機による臨時公衆電話の設置を行い、災害伝言ダイヤル171の開設を行う。 (展示コーナーで実施)
炊き出し訓練	避難所において、避難者に提供する非常食の炊き出し(アルファ化米)を行い、配布する。陸上自衛隊は、炊事車による給湯、炊飯等を行う。
被害状況調査訓練	緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の先遣調査として、ヘリコプターにより、はん濫状況調査及び被害状況調査を行う。演習では、ヘリから演習会場の様子を撮影し、会場モニターに放映する。
現地対策本部の設置訓練	破堤氾濫の災害発生により対策本部車と衛星通信車が現地に急行し現地対策本部を開設。 情報収集、現地の画像伝送等、対策本部との通信手段を確保する。
浸水地区緊急排水訓練	大規模に浸水した区域の水位を下げるため、排水ポンプ車による緊急排水作業を行う。夜間での作業に対応できるよう、照明車もあわせて出動させる。
TEC-FORCE リエゾン活動訓練	滋賀県からの要請を受け、野洲川の支川で被災状況調査を行う。 本演習では、浸水のため孤立した地区にヘリコプターで隊員を派遣し、KU-SAT2の設置と被災状況調査を行う。
水防活動体験	防災エキスパートの指導により、土のう作りと積土のう工の施工体験をしていただく。

## (2) 救出・救護訓練

訓練項目	訓練内容
被災情報収集訓練	広域的な被災状況を把握するため、ヘリコプターにより調査を行い、地上パトロール隊に情報を提供する。ヘリコプターからの情報に基づき、地上パトロール隊が現地に急行し、現地調査を行う。
現地調整所 設置訓練	被害の拡大が予想されるため、連携した救助活動が必要であるとされ、地元消防により情報を共有するための現地調整所を設置し、関係機関の現地指揮官の招集を要請。
現地調整所 指揮活動訓練	被災状況を把握し、対策本部との連絡を密にし、緊急度に応じて迅速に対応するための現地指揮を行う。
浸水区域内孤立者 救助訓練	ヘリコプター調査で発見した浸水地内に取り残された被災者をホイストにより吊上げ救助し、拠点病院に搬送する。
被災家屋からの 救助訓練	被災建物に残された被災者を救助し、救護所に搬送する。演習では、消防はしご車を使った屋上からの救助、1階シャッターをカッターにより解放し救助を行う。
埋没(水没)車両から の救助訓練	土砂に埋没した車両に取り残された被災者を救助し、救護所に搬送する。

訓練項目	訓練内容
埋没被災者救助訓練	土砂崩れで埋没した被災者を救助し救護所に搬送する。
トリアージポスト・ 応急救護所設置訓練	大規模な被害が発生し、被災現地で応急救護を行うためのトリアージポスト及び応急救護所を設置する。
負傷者トリアージ 応急救護訓練	救助された被災者をトリアージにより緊急度に応じて分類し、応急救護所に搬送する。搬送された被災者を現地の応急救護所において緊急治療が行われる。
重傷者緊急搬送訓練	<p>緊急に手術や治療が必要な重篤患者が発生したとの想定で、救急車により臨時ヘリポート（会場既設ヘリポート）に搬送し、ヘリにより拠点病院に搬送を行う。</p> <p>演習では湖南広域消防局の救急車と滋賀県防災航空隊ヘリの連携で拠点病院への緊急搬送訓練を行う。</p>
救援物資輸送訓練 物資受入訓練	<p>災害対策本部からの要請により、備蓄倉庫から避難所に非常食、衣料品、日用品等の救援物資を運搬する。</p> <p>運搬された救援物資は、地域の自主防災組織により、避難所に搬入・仕分を行う。</p>

### 3. 取材についてのお願い

- 演習開始は、9時00分です。取材を希望される場合は、8時45分までに現地にて受付願います。
- 現地においては、プレス腕章を着用し、係員の指示に従ってください。
- 会場には報道関係車両の駐車場を設置しています。
- 受付場所および駐車場については、資料の7頁(4. 演習会場配置図)のとおりです。

